

報道関係者 各位

～ 近代日本の産業革命の地「北九州市・東田 Super City for SDGs 構想」～
先端技術による未来都市づくり「スーパーシティ構想」を国へ提案します！

北九州市は、1901年の「官営八幡製鐵所」の操業開始以来、鉄鋼、化学などの重化学工業を中心に日本の高度経済成長を担い、近年は環境エネルギーやロボット、情報通信など多くの産業が集積する「ものづくりの街」として発展してきました。

とりわけ、「東田地区」は、日本初の近代高炉が立地した「産業革命の地」であり、過去の甚大な公害を産学官民の連携で克服した経験や、製鐵所跡地での「環境」をテーマとした持続可能な街づくりなど、これまで、技術、人材、ノウハウなどの様々な「地域資源」が蓄積されています。

これらの地域資源を基盤として、更なる地域の経済活性化や課題解決を図るため、また、先端技術による未来都市づくりのリーディングシティを目指して、国が進めるスーパーシティ構想に「北九州市・東田 Super City for SDGs 構想」として応募します。

～ 近代日本の産業革命の地「北九州市・東田 Super City for SDGs 構想」～

1 目指すべき未来像

「世界の環境首都づくり」を礎とし、デジタル先端技術を駆使することで、
環境・経済・社会の好循環によるSDGsの加速化、脱炭素社会の実現を目指す。



2 応募対象区域 北九州市八幡東区東田1～5丁目

※ 構想の詳細は別紙をご覧ください